

郡中いっぷく亭 開設の経緯

2005年度(平成17年度)、伊予市商業協同組合の組合員を対象にした勉強会で「お年寄りに優しいまちづくり・店づくりを行い中心市街地の活性化を進めよう」と言う意見がまとまりました。その内容は中心市街地の各所に「ちよっとひと休みベンチ」の増設、お年寄りの方をはじめ誰もが気軽に利用できる交流施設づくり、楽しく買い物ができる場づくりと縁日などの検討です。これらを目指し、2006年度(平成18年度)に伊予市から、お年寄りに優しいまちづくりモデル事業の補助金交付を受けてこの事業が開始されました。利用される方の利便性も考慮し、商店街の中心部に位置する空き店舗を活用し交流施設「郡中いっぷく亭」がオープンしました。ボランティアによる常設型のサロンとしては伊予市内では唯一、県内においても数少ない交流施設として地域の人たちに親しまれています。

開設に向かつて

しかし、ここに至るまでには色々な問題がありました。

まず、お手伝いしてくれる人の確保が必要となりました。老人会など各種団体に協力をお願いしましたが、皆さん自分たちの事で手が一杯で、手助けする余裕がないようでした。はつきりと、「そんな交流施設を作っても誰も来ませんよ」とも言われまし

特集② 空き店舗の活用

ちよっと およりんか 郡中いっぷく亭



郡中いっぷく亭 運営委員 水口 純子 (伊予市)



くるみ絵教室

知り合いに声を掛けて協力してくださる方々に集まっていたいただきました。また新聞

た。また「ボランティアでのお手伝いは無理かも」との声もあり難航しました。そこで運営委員さん達は、

現状

を見たと言ってお手伝いしてくれる方や、フラワーアレンジメントを教えてくれる方も現れて、当初40名で開設しました。じつと待っているだけでは、人に来てもらえないからと、「趣味の教室」を始めようとか、色々試行錯誤しながら、現在の教室体制になりました。現在では生徒さんが増えていっぷく亭が手狭になるほどです。

いっぷく亭の開館日時は月曜日から金曜日の10時から15時までとし、運営委員さんは午前と午後に分けて、2時間半の当番制にしています。土曜日・日曜日・祝日、年末・年始とお盆の期間、春と秋の地方祭



いっぷく亭ひなまつり (いっぷく亭室内)

3月3日～4月3日には商店街の店舗や住宅にお雛様を飾る「郡中ひなかさざり」の開催。11月第2土曜日には、いっぷく亭の普段の活動や教室の作品を発表する「郡中いっぷく亭まつり」を開催しています。

また季節の行事やお祭りにも積極的に協賛、参加しています。

3月第4日曜日に開催される「五色姫復活祭」ではいっぷく亭趣味の教室の手づくり作品の販売。6月第1・2・3土曜日に開催される「ふれあい土曜夜市」では、いっぷ



習字教室

は休館しています。

運営はボランティアの皆さんによる「いっぷく亭運営委員会」が行い、訪れてくださった方へは湯茶のお接待と話し相手をする心をかけて

郡中いっぷく亭の活動をおして

く亭で様々な協賛イベントを開催しています。

いっぷく亭の様子は、伊予市商業協同組合ホームページ「よいとこ郡中」にも掲載していますのでご覧になってください。

私達運営委員はいっぷく亭の活動を通して、地元のお奥さん達や教室に来る人達と親しくなり輪が広がりました。また講師でお招きした若松進一さんや「いっぷく亭の歌」を作曲してくださった富井建樹さん達とも親しくなり、お二人は色々な分野で町おこしをしている方たちなので勉強させて頂いています。「郡中ひなかさざり」では、テレビで紹介されてから遠くの方が見学に来るようになりました。今年は里帰りをした千葉県の方が、「懐かしい御殿雛を見てうれしかった」とメモを残してくれていました。こういった言葉は、飾る者にとって励みになります。昨年の3月3日にはご年配の方を中心に雛めぐりツアーを、今年4月3日には子供たちを招待してひな祭会をしました。20名位かなと思っていました。子供やお母さん達を含めると60名にもなりうれしい悲鳴を上げました。来年は時間をずらすなどしてもっと工夫をしようと思んでいます。反省しました。「郡中いっぷく亭まつり」では、お年寄りさんを招待して、お茶の接待やパーサー、手作り作品の見学など案内して回り「誘ってもらわなかったら、街に出る事もないし、楽しかった」と喜んで貰っています。



第6回いっぷく亭まつり

色々頑張ってきたいっぷく亭も6年が経ち運営委員さんの中で体を壊す人が出るなどして、現在は20名で運営しています。少なくなった分しわ寄せが来て、ひな人形を飾る時にみんなの負担が多くなるなど新たな問題が起きていますが、お年寄りに優しいまちづくり、いっぷく亭の運営の事など自分がしなくても、誰かがするだろうと任せでなく、いっぷく亭を立ち上げたときの様に、手を取り、知恵を出し合っている素晴らしいいっぷく亭を続けて行きたいものです。